

令和4年度

大井町当初予算（案）の概要

令和4年度当初予算（案）の概要

大井町のまちづくりは、第6次総合計画「つなごう！大井未来計画」における「大井町戦略事業（第2期大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略）」を中心に推進し、「みんなであつなぐ 大井の未来」の将来像の実現に向け、取り組んでおります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び影響は継続しており、地域経済や町民生活は大きく変化し、感染症対策を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」となってきました。さらに、感染症の終息に向けた出口が見えない状況下、また、景気の低迷下の中で未来を明確に見通すことが難しいところではありますが、様々な課題を乗り越え、持続可能なまちづくりを推進していくためには本町の強みを活かし、町民・議会・行政がそれぞれの立場を尊重し、それぞれの役割と責任のもと、相互に協力して取り組んでいくことが必要であります。

令和3年度は、第6次総合計画の前期基本計画における第1次実施計画の初年度であり、これまでの大井町の礎を築いてきた事業を継続し、大井中央公園の整備など新たにこれからの礎となり得る事業を展開してまいりました。

重点施策である大井町戦略事業のうち、「協働プロジェクトの推進」については、行政情報などを積極的に発信するとともに、協働によるまちづくりに取り組みました。「持続可能な生活環境の整備」については、新型コロナウイルスワクチン接種体制など関係医療機関と連携を図り、医療体制づくりを行い感染症対策に取り組むとともに、防災備蓄倉庫等の整備を行いました。「教育・子育て環境の充実」については、大井幼稚園の園庭の芝生化を実施するとともに、GIGAスクール構想の実現に向け、GIGAスクールサポーターを配置し、ICT機器を活用した学習の充実を図りました。「地域特性を活かした産業の創出と魅力の発信」については、次世代を担う農業者となることをめざした新規農業者に対し支援を行うとともに、地域経済活性化の一助としてプレミアム付き商品券事業への補助も行いました。

こうした事業展開を背景にまちづくりを行っておりますが、今後も総合計画の戦略事業に掲げる各施策を推進するとともに、私がめざす「ありがとうがあふれるまちづくり」が実現できるよう、町が抱える課題や町民生活に深く関わる喫緊の課題

への対応を最優先にして、様々な施策の具体化を図っていきたいと考えております。また、引き続き関連交付金等を最大限活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と社会経済活動の両立を図るとともに、ポスト・コロナ社会を見据えた町の活性化に向けて取り組んでまいります。

令和4年度は、第6次総合計画「つなごう！大井未来計画」の2年目となり、これからの未来へとつなぐため、大切な年度となります。その予算編成においては、「つなごう！大井未来計画の着実な推進」、「『今後の発展を見据えた』施策・事業の展開」、「新型コロナウイルス感染症対策等」、「公共施設等やインフラ全般の維持管理」、「財政の安定」の5つの視点を重点に据えることとしました。

編成した予算は、一般会計の歳入では、基幹となる町税のうち、町民税個人分及び法人分は、令和3年度予算編成において新型コロナウイルス感染症の影響を大きく見込んだ編成としましたが、令和3年度実績等を勘案して、増額計上しました。さらに、固定資産税は、地価下落に伴う既存宅地等の減額はあるものの、大井中央土地区画整理事業区域の換地完了に伴う宅地面積及び新築家屋の増を見込み増額計上しました。各種交付金等については、経済情勢や歳入実績などから全体として同規模もしくは増額で計上しました。ふるさと納税については、歳入実績などを鑑み減額とし、その他の財源として、基金からの繰入れと町債を計上しました。

次に歳出では、「戦略事業」に掲げた施策や事業の継続性に配慮と重点を置き、「みんなでつなぐ 大井の未来」を実践するための経費を計上しました。

以上により、一般会計では、歳入歳出61億1,000万円を計上し、令和3年度当初予算との比較では1億4,000万円の増額、率にして2.3%の増となりました。

また、特別会計及び企業会計では、令和3年度当初予算と比較して、国民健康保険特別会計において、県に納める事業費納付金の増額などから2.1%の増、後期高齢者医療特別会計において、被保険者数の増などから5.7%の増、介護保険特別会計において、保険給付費の増額などから0.8%の増、水道事業会計において、一般建設改良費の減額などから22.4%の減、公共下水道事業会計において、工事請負費及び償還金の減額などから4.7%の減となりました。

全会計では、総額105億1,800万円となり、令和3年度当初予算と比較して3,300万円の減額、率にして0.3%の減となりました。

各会計の予算額は次のとおりです。

		対前年度当初予算比
一 般 会 計	6, 1 1 0, 0 0 0 千円	2. 3% 増
国民健康保険特別会計	1, 4 9 0, 0 0 0 千円	2. 1% 増
後期高齢者医療特別会計	2 6 0, 0 0 0 千円	5. 7% 増
介護保険特別会計	1, 2 9 0, 0 0 0 千円	0. 8% 増
水道事業会計	6 6 6, 0 0 0 千円	2 2. 4% 減
公共下水道事業会計	7 0 2, 0 0 0 千円	4. 7% 減
合 計	1 0, 5 1 8, 0 0 0 千円	0. 3% 減

令和4年度の主な施策

【つなごう！大井未来計画 前期基本計画の施策別】

(____は新規事業)

◎大井町戦略事業

1 協働プロジェクトの推進

- ・コロナ禍で貧困状態に陥る世帯を支援するためにフードパントリー事業（食品無料配布活動）を行う団体に対し、地域活動スタートアップ助成事業により補助金を交付します。
- ・自治会からの設置要望に基づき、1基の掲示板を新規設置します。
- ・地域の活動拠点である自治会集会施設の維持管理のため、自治会が行う補修等に対し、補助金を交付します。

2 持続可能な生活環境の整備

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制を引き続き確保していきます。
- ・災害対策基本法の改正などにより、新たな災害リスクが示されていることから最新の被害想定などに沿った計画とするため地域防災計画を改訂します。
- ・災害の発生に備え、備蓄食糧を更新及び増備するとともに、これまで備蓄していなかった女性用生理用品や紙おむつなどを新たに備蓄し、災害備蓄品の充実を図ります。また、受援機能体制の円滑な運用に向けて、新設した防災備蓄倉庫に電動油圧式昇降運搬機等の資機材を整備します。さらに、有事の際に使用できるよう防災備蓄倉庫屋根に太陽光発電設備の設置工事を行います。
- ・木造住宅耐震診断や改修工事等の補助制度の実施により、地震に強い安全なまちづくりを推進するとともに、ブロック塀などの安全対策への支援として危険ブロック塀等の撤去に係る補助制度を引き続き実施します。
- ・都市計画道路等の早期整備に向けた要望活動を行うとともに、都市計画道路金子開成和田河原線の県道711号から国道255号までの区間について、整備に向けた取り組みを県とともに推進します。また、都市計画道路の整備にあたり、既存町道との隅切り部分などの道路用地を取得します。
- ・持続可能な公共交通システムの構築を図るため、「おおいゆめバス」の本格運行を開始するとともに、相和地区の路線の確保に努めます。

- ・令和5年度からの10年間の期間とする大井町環境基本計画を改訂します。また、ゼロカーボンシティの実現に向けて脱炭素の方向性や具体的な取り組みを進める必要があるため、地域再生エネルギー導入検討調査を行います。
- ・様々な環境問題に対する意識啓発事業として、コロナ禍の影響により延期となっていた第11回大井町環境展を開催します。
- ・町民の利便性の向上を図るため、マイナンバーカードの申請や交付をオンライン予約できるようマイナンバーカード交付予約管理システムを導入します。

3 教育・子育て環境の充実

- ・大井幼稚園及び大井第二幼稚園で3歳児への給食提供を10月から引き続き週2回実施します。
- ・大井幼稚園及び大井第二幼稚園で満3歳児保育を9月から引き続き試行的に実施します。
- ・大井保育園において、子どもたちが安心して利用できるよう、また、熱中症や感染症等対策として、2歳児保育室の空調設備設置工事及びテラス床改修工事を行います。
- ・待機児童対策として、民間保育所の園舎建て替え工事に対する補助を行うとともに、認定こども園を新規開設する事業者に対して補助を行います。
- ・子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題の解決のために設置した学校運営協議会により、引き続き学校と地域が一体となって子どもたちを育てていきます。また、同時に学校を核とした地域づくりをめざして、学校と地域が連携・協働していけるよう地域学校協働活動推進員を配置します。
- ・小中学校において、GIGAスクール構想の実現に向け、ICTを活用した授業がスムーズに行えるよう、専門的知識を有するICT支援員を配置します。
- ・学習意欲喚起と学力向上を図るため、3検定（英検、数検、漢検）にチャレンジする小中学生への支援を引き続き行います。また、国際感覚豊かな人材育成として、中学生に対し、国内に居ながら外国の文化、マナーに触れ、活きた英語を学び異文化への興味を養うため研修の機会を提供します。
- ・子育て支援施策の一環として、妊婦、出産時及び産後の母体の保護と精神的経済的な負担軽減を図るため、妊婦・子育てタクシー利用助成を行います。
- ・児童コミュニティクラブにおいて、新たに土曜日を開所することとし、また、老朽化したおおい児童コミュニティクラブのフェンスを交換することで、健

全育成と安全確保に努めます。

4 地域特性を活かした産業の創出と魅力の発信

- ・大井中央公園の完成に伴い、開園式に合わせオープニングイベントを開催するとともに地場産マルシェが実施できる仕組みづくりを構築します。
- ・足柄上地区における共通課題でもある鳥獣被害対策について、捕獲した大型獣の処分を松田町が整備するジビエ処理加工施設を広域で利用することにより、農業や生活などへの被害防止につなげます。
- ・農業体験施設「四季の里」の管理、運営に民間事業者のノウハウを活用することで、利用者のサービス向上を図るため指定管理者制度を導入します。
- ・次世代を担う農業者となることをめざし、引き続き、独立・自営就農する認定新規就農者を支援します。
- ・パラレルキャリアの実践の場として、引き続き、(一社) 神奈川大井の里体験観光協会の活動及び自然環境や農業等の地域資源を活用した体験型事業を展開するとともに、農ある暮らしを広くプロモーションし、移住・定住につなげます。また、交流体験事業の成果を広域に広げ、より幅広い地域資源を活用し、修学旅行等の大規模受入をめざすため、人材育成を進めるとともに、町内小学生を対象とした地域資源を活かした体験プログラムや体験民泊を行う「夏休みこども民泊チャレンジ」を開催します。
- ・各種交流体験事業や農業体験施設「四季の里」におけるイベント等の開催を通じ、交流人口の増加を図るとともに、農業の6次産業化や商工業者との連携による地域の活性化をめざし、にぎわいの創出を図ります。
- ・新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた地域経済の持続化・活性化を図るため、生活支援及び町内での消費喚起対策として、大井町商工振興会が行うプレミアム付き商品券事業への補助を引き続き行います。
- ・町の玄関口（上大井駅前と国道255号）に設置している自立型の広告塔を改修し、来訪者への町のイメージアップにつなげます。

◎施策別計画

【地域がつながり地域で育むまち】

《協働》

- ・ SNS など時代に即したツールの活用による広報機能の充実を図り、広報紙や町ホームページや地域情報誌などを活用して町内外に情報発信します。
- ・ コロナ禍で貧困状態に陥る世帯を支援するためにフードパントリー事業（食品無料配布活動）を行う団体に対し、地域活動スタートアップ助成事業により補助金を交付します。（再掲）
- ・ 自治会からの設置要望に基づき、1基の掲示板を新規設置します。（再掲）
- ・ 地域の活動拠点である自治会集会施設の維持管理のため、自治会が行う補修等に対し、補助金を交付します。（再掲）
- ・ 法テラス小田原と連携し、収入が一定額以下の町民を対象に、弁護士とオンラインによる無料法律相談を実施します。
- ・ 足柄上地区パートナーシップ制度連絡協議会において、性的マイノリティに係る正しい知識の普及啓発を図るため、職員を対象とした研修会を開催します。

《教育》

- ・ 大井第二幼稚園において、創立 50 周年を迎えるにあたり、これまでの園の変遷や幼稚園教育について研究してきたものを後世に残すため、記念誌を発行します。
- ・ 大井幼稚園及び大井第二幼稚園で 3 歳児への給食提供を 10 月から引き続き週 2 回実施します。（再掲）
- ・ 大井幼稚園及び大井第二幼稚園で満 3 歳児保育を 9 月から引き続き試行的に実施します。（再掲）
- ・ 大井保育園において、子どもたちが安心して利用できるよう、また、熱中症や感染症等対策として、2 歳児保育室の空調設備設置工事及びテラス床改修工事を行います。（再掲）
- ・ 大井保育園の土曜保育を引き続き実施します。
- ・ 園舎及び校舎において、老朽化等による施設の改修工事、修繕等を行い、教育環境のより一層の充実と安全性の確保を図ります。
- ・ 待機児童対策として、民間保育園の園舎建て替え工事に対する補助を行うと

- ともに、認定こども園を新規開設する事業者に対して補助を行います。(再掲)
- ・大井小学校において、劣化が激しい特別教室の椅子の更新と体育館舞台幕の改修を行います。
 - ・上大井小学校において、バランス感覚や視覚、聴覚など感覚統合に効果が期待されることばの教室のトランポリンが劣化して危険なため、更新をします。
 - ・子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題の解決のために設置した学校運営協議会により、引き続き学校と地域が一体となって子どもたちを育てていきます。また、同時に学校を核とした地域づくりをめざして、学校と地域が連携・協働していけるよう地域学校協働活動推進員を配置します。(再掲)
 - ・小中学校において、GIGAスクール構想の実現に向け、ICTを活用した授業がスムーズに行えるよう、専門的知識を有するICT支援員を配置します。(再掲)
 - ・学習意欲喚起と学力向上を図るため、3検定(英検、数検、漢検)にチャレンジする小中学生への支援を引き続き行います。また、国際感覚豊かな人材育成として、中学生に対し、国内に居ながら外国の文化、マナーに触れ、活きた英語を学び異文化への興味を養うため研修の機会を提供します。(再掲)
 - ・インターネットに関わるトラブルから子どもたちを守るため、「情報モラル教育」を引き続き行い、実態調査や研修会を実施します。
 - ・学校給食の食材では、大井町産農産物を積極的に使用します。
 - ・専門知識、経営能力、技術力などを活用することにより効率的で安定した学校給食運営を行うために、引き続き給食の調理業務等を民間委託とします。

《文化》

- ・生涯学習センターにおいて、老朽化の進んだ舞台の吊物設備の更新をするとともに、一部安全装置を装備した防火シャッターを改修することにより防災機能の向上を図ります。また、視聴覚室やリハーサル室などの音響設備を更新し、利用者へのサービス向上を図ります。
- ・図書館において、地震などの災害発生時に図書落下による避難経路の閉鎖を防ぐため、書棚板前に落下防止テープを貼ります。また、図書館カードを一新し、新規登録者などに配布します。さらに、直通電話を開設し、利用者の利便性の向上を図ります。
- ・そうわ会館において、老朽化した自動ドアと浄化槽のタンク蓋の改修を行います。また、劣化した陶芸窯の更新をします。

- ・総合体育館において、新型コロナウイルス感染症対策として館内に設置している換気扇の更新をします。また、避難所として指定していますが、現在の非常用電源設備では停電時に各室へ電気を供給することができないため非常用電源改修工事の設計を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症により延期となっていた「ねんりんピックかながわ」の開催に向けて、大井町ねんりんピック実行委員会に対し、補助金の交付を行います。
- ・おおい自然園事業では、郷土の豊かな自然に親しみ、守り、次世代へ伝えていくため、引き続き、観察会や展示会を開催するとともに、動画を活用して町の自然の魅力を紹介します。

【みんなが笑顔になれるまち】

《子育て》

- ・子育て支援施策の一環として、妊婦、出産時及び産後の母体の保護と精神的経済的な負担軽減を図るため、妊婦・子育てタクシー利用助成を行います。
(再掲)
- ・児童コミュニティクラブにおいて、これまで休所日としていた土曜日を開所することとし、また、老朽化したおおい児童コミュニティクラブのフェンスを交換することで、健全育成と安全確保に努めます。(再掲)
- ・子育て支援センターの周辺には、高低差のある場所があり、誤って落下してしまう危険性があるため、落下防止の柵を設置します。また、敷地内樹木が敷地外に伸びており、通行人や子どもたちへの危険性があるため、枝落とし作業を実施します。
- ・町の未来を担う赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに、健やかな成長を願って、新生児ゆめおおいギフト事業制度を引き続き実施するとともに、第3子以降を出産された方への出産祝い金の支給を実施します。
- ・産後体調不良や育児支援が必要な方が、安心して子育てできるよう助産師が自宅訪問し、健康管理や子どもの発育発達相談など育児指導を行う産後ケアの充実を引き続き図るとともに、産婦健康診査費用の一部助成を行います。
さらに、生後3か月までの第1子をもつ母親に栄養バランスが取れた昼食を提供することにより、栄養補給と育児家事負担の軽減を図るため、産婦配食サービス事業を引き続き実施します。
- ・妊婦の健康管理を図るため、妊婦健康診査に係る費用や妊婦歯科健診の助成

を引き続き実施します。

- ・保険適用外のため、経済的な負担が大きい不育症の治療について、治療費を助成します。
- ・発達が気になる子どもや、親の関わりによって発達が促されると想定される子どもに対して支援を行うとともに、関係機関との連携を図ります。
- ・子育て世代包括支援センターとして、母子健康手帳の発行から継続した妊産婦への支援を行い、引き続き子育て支援の充実を図ります。
- ・児童コミュニティクラブは、引き続き6年生までを対象学年とします。
- ・子ども医療費（入院・通院）の助成対象年齢を引き続き18歳までとし、児童・生徒の健やかな成長の支援と家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、将来的な人口減少を見据え、定住促進を図るための一助とします。
- ・足柄上郡5町の広域連携事業として病児保育事業を引き続き実施します。

《健康》

- ・引き続き、国民健康保険の被保険者の健康維持を目的に、特定健康診査の費用を全額無償化とし、一般及び女性特有の人間ドック受検費用（最大25,000円）の助成を実施します。また、特定健診未受診者対策として人工知能を用いた受診勧奨を実施します。（国民健康保険事業）
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制を引き続き確保していきます。（再掲）
- ・近年、前立腺がんによる死亡者数が増加していますので、早期発見・治療を目的に50歳以上の男性に対し、検診の助成をします。
- ・高齢者肺炎球菌定期予防接種に該当しない高齢者の肺炎球菌ワクチン接種費用を一部助成することで、肺炎になる方を減らし、新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぎます。
- ・生活習慣病予防において、コロナ禍の影響により開催することができなかった、働いている世代への改善指導を行うメタボ予防教室を開催します。
- ・がん検診において、引き続き胃がん内視鏡検診を実施します。
- ・骨髄等を提供したドナー及びそのドナーが勤務する事業所に対して経費を補助する、骨髄移植ドナー支援事業を引き続き実施します。
- ・未病を改善する取り組みとして、笑顔から健康生活の普及促進を図ることを目的とし、多世代が年齢・性別を問わずに交流が深められるスポーツイベントを開催します。
- ・未病改善を推進するため、「未病センターおおい（いきいき・おおい・健康ス

テーション)」を運営するとともに、町の事業と連携した講習会等を開催することで、年齢やニーズに応じた健康づくりの推進及び未病改善の取り組みを充実していきます。

《福祉》

- ・「おーい！元気会」運営サポーターの新たな担い手の創出を目的にボランティアポイント制度を引き続き実施します。
- ・高齢者独居世帯が増加する中で需要が高まる見守りへの対応として、家族等による見守り機器の導入費用の一部を引き続き助成します。
- ・町内に整備される介護施設に対し、地域医療介護総合確保基金事業費補助金を交付し、介護サービス基盤及び高齢者福祉の充実を図ります。
- ・足柄上地区 1 市 5 町の共催による集団指導講習会をはじめ、指定事業者への指導監督を引き続き行い、サービス提供体制の適正化に努めます。
(介護保険事業)
- ・高齢者における生活課題の解決に向け、引き続き生活支援体制整備事業に取り組みます。
(介護保険事業)
- ・介護予防が必要な方の把握に努め、閉じこもり予防・認知症予防・筋力向上などの事業を行います。
(介護保険事業)
- ・地域包括支援センターにおいて、適切な機関・制度・サービスへとつなぐ総合的な相談・支援を行います。
(介護保険事業)
- ・自立支援・重度化防止に向けた取り組みとして、住民が主体となって活動をする「通いの場」への専門職の派遣を引き続き行います。
(介護保険事業)
- ・認知症の人ができる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症地域支援・ケア向上事業を引き続き実施します。また、認知症への理解の促進として、アルツハイマー月間において、オレンジライトアップ事業を実施します。
(介護保険事業)
- ・認知症、知的障がいその他精神上的障がいにより判断能力が不十分な方が成年後見制度を適切に利用できるよう、足柄上地区で連携して成年後見センターを設置します。
- ・障がい者の権利擁護と成年後見制度の活用を目的として、町長申立てに際して発生する後見人の報酬を引き続き町が支援します。
- ・障がい者を支援するために、他市町との連携により共同運営をしている各種事業に費用負担を行い、誰もが自立して社会参加できる社会の実現をめざし

ます。

- ・コロナ禍により大変厳しい状況にある個人事業主や失業者をはじめとする国民健康保険の被保険者に係る経済的負担の軽減を目的に保険税の見直しを行います。すべての世帯に均一に賦課される平等割額を一年間の時限措置の延長を行い、現行額の1/2を減額します。また、子育て世帯を応援するため、18歳以下の子どもがいる世帯の均等割額を引き続き全額免除します。

(国民健康保険事業)

- ・町営河原住宅は、建築から25年経過しており屋根の劣化が進行しているため、A棟B棟同時施工で屋根の改修工事を行い、耐久性の維持・向上につなげます。

【みんなで取り組む安全・安心のまち】

《安全・安心》

- ・小田原市消防本部との連携により、引き続き、安心して効率的な消防力、防災力、救急体制の維持に努めます。
- ・消防団員の処遇改善として、これまで支給していた活動手当に変え、国が新たに策定した基準に沿って見直した出動報酬を支給します。
- ・学生消防団活動認証制度や消防団協力事業所表示制度を導入し、消防団員の加入促進に努めるとともに、いわゆる少年消防クラブのような小学生分団をモデル的に結成し、幼少期から消防団に関心を持ってもらうよう環境をつくります。
- ・準中型免許取得費用に対する助成制度の創出や、有事に分団員が詰所や現場に駆け付ける際に使用した車での事故を補償するための保険に加入することで、分団員の負担軽減や安全対策に努めます。
- ・災害発生時の通信環境をより強いものとするため、新たに位置情報送信機能やカメラ画像の送信機能を備えた、MCA無線とIP無線のハイブリッド無線機を導入し、通信の複層化を図ります。
- ・災害対策基本法の改正などにより、新たな災害リスクが示されていることから最新の被害想定などに沿った計画とするため地域防災計画を改訂します。
(再掲)
- ・災害の発生に備え、備蓄食糧を更新及び増備するとともに、これまで備蓄していなかった女性用生理用品や紙おむつなどを新たに備蓄し、災害備蓄品の充実を図ります。また、受援機能体制の円滑な運用に向けて、新設した防災備蓄倉庫に電動油圧式昇降運搬機等の資機材を整備します。さらに、有事の

際に使用できるよう防災備蓄倉庫屋根に太陽光発電設備の設置工事を行います。(再掲)

- ・地域防災リーダーの育成や自主防災組織の活動を引き続き支援します。また、消防団分団長経験者に「防災士」の資格取得を促す事業を継続し、引き続き、地域防災力の充実強化を図ります。
- ・地域における防犯ボランティア「にこにこパトロール隊」の活動を支援し、防犯体制の充実を図ります。
- ・LED防犯灯の適正な設置と維持管理に努め、夜間における事故や犯罪が起きにくい環境づくりを進めます。
- ・町民が安心して生活できるよう、街頭防犯カメラを増設し、犯罪発生を抑止と体感治安の向上を図ります。
- ・カーブミラー等の交通安全施設の適正な設置や管理を行い、交通安全の推進を図ります。
- ・足柄上地区1市5町で連携し、消費生活の安定・向上を図るため、相談体制の充実を図ります。

【将来を見据えた社会基盤と環境のバランスがとれたまち】

《社会基盤》

- ・木造住宅耐震診断や改修工事等の補助制度の実施により、地震に強い安全なまちづくりを推進するとともに、ブロック塀などの安全対策への支援として危険ブロック塀等の撤去に係る補助制度を引き続き実施します。(再掲)
- ・大井中央土地区画整理事業により造成された土地の活用を促すことにより、住宅地を基本とした市街地の整備を促進します。
- ・町道等6路線の改良工事と3路線の維持工事、区画線及び橋りょう補修工事を実施し、交通や生活の安全性・快適性を確保します。
- ・都市計画道路等の早期整備に向けた要望活動を行うとともに、都市計画道路金子開成和田河原線の県道711号から国道255号までの区間について、整備に向けた取り組みを県とともに推進します。また、都市計画道路の整備にあたり、既存町道との隅切り部分などの道路用地を取得します。(再掲)
- ・水道施設の維持管理と水道水の水質管理を行い、安全・安心な水道水の安定供給を図ります。(水道事業)
- ・第2浄水場の動力盤の更新工事を行います。また、非常用発電機の改修工事も行います。さらには、老朽管更新計画に基づき、第1浄水場から根岸山配

水池の区間の送配水管の更新工事を行うとともに、都市計画道路事業の進捗状況に合わせ送配水管の布設工事を行います。(水道事業)

- ・下水道整備の推進及び維持管理に努め、生活環境の向上や農業用水等の水質保全を図ります。(公共下水道事業)
- ・都市計画道路事業に伴い公共下水道(計 315.0m)を布設します。(公共下水道事業)
- ・都市計画道路建設に伴い、支障となる下水道管の移設場所が確保できないことから仮設工事を行います。(公共下水道事業)
- ・御殿場線利活用推進協議会等を通じ、利便性向上に向けた要望活動を行うとともに、沿線自治体との協力により周辺地域の活性化に取り組みます。
- ・持続可能な公共交通システムの構築を図るため、「おおいゆめバス」の本格運行を開始するとともに、相和地区の路線の確保に努めます。(再掲)
- ・庁舎の中央監視装置は、更新してから 16 年が経過し突然のシステムダウンが発生する可能性があるため、故障によるリスクを回避するため、中央監視システムの更新工事を行います。

《環境》

- ・令和 5 年度からの 10 年間を期間とする大井町環境基本計画を改訂します。また、ゼロカーボンシティの実現に向けて脱炭素の方向性や具体的な取り組みを進める必要があるため、地域再生エネルギー導入検討調査を行います。(再掲)
- ・様々な環境問題に対する意識啓発事業として、コロナ禍の影響により延期となっていた第 11 回大井町環境展を開催します。(再掲)
- ・地球温暖化の防止や家庭におけるエネルギー需要の改善を図るため、住宅に太陽光発電システム、HEMS や蓄電池を設置する方に対し設置費用の一部として住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金を交付するとともに、電気自動車等の購入者に対し電気自動車等購入費補助金の対象を拡充し、引き続き交付します。
- ・土地所有者との協定に基づき柳地内において山林間伐整備を行い、水源涵養等の公益的機能の向上や里山の保全を図ります。
- ・子どもエコ・スクール事業等を引き続き実施し、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深め、環境問題の解決に向けて自ら考え行動する力を醸成します。

- ・小田原市斎場事務広域化協議会の構成員として、引き続きその事務委託料を負担します。
- ・足柄上地区における資源循環型処理施設の整備に際し、足柄上地区1市5町で準備室を設置しているため、その負担金を支出します。
- ・大井中央公園の開園式を行い、広く町民の方に知ってもらい、利用しやすい公園として管理運営します。また、公園内でイベント等が開催できるよう対応します。
- ・大井中央公園内の休憩所に太陽光発電設備の設置工事を行うとともに、防犯カメラを設置し、安全対策を講じます。

【地域の特性を活かした産業による交流が活発なまち】

《農業・商業・工業》

- ・大井中央公園の完成に伴い、開園式に合わせオープニングイベントを開催するとともに地場産マルシェが実施できる仕組みづくりを構築します。(再掲)
- ・足柄上地区における共通課題でもある鳥獣被害対策について、捕獲した大型獣の処分を松田町が整備するジビエ処理加工施設を広域で利用することにより、農業や生活などへの被害防止につなげます。(再掲)
- ・農業体験施設「四季の里」の管理、運営に民間事業者のノウハウを活用することで、利用者のサービス向上を図るため指定管理者制度を導入します。(再掲)
- ・次世代を担う農業者となることをめざし、引き続き、独立・自営就農する認定新規就農者を支援します。(再掲)
- ・パラレルキャリアの実践の場として、引き続き、(一社)神奈川大井の里体験観光協会の活動及び自然環境や農業等の地域資源を活用した体験型事業を展開するとともに、農ある暮らしを広くプロモーションし、移住・定住につなげます。また、交流体験事業の成果を広域に広げ、より幅広い地域資源を活用し、修学旅行等の大規模受入をめざすため、人材育成を進めるとともに、町内小学生を対象とした地域資源を活かした体験プログラムや体験民泊を行う「夏休みこども民泊チャレンジ」を開催します。(再掲)
- ・各種交流体験事業や農業体験施設「四季の里」におけるイベント等の開催を通じ、交流人口の増加を図るとともに、農業の6次産業化や商工業者との連携による地域の活性化をめざし、にぎわいの創出を図ります。(再掲)

- ・新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた地域経済の持続化・活性化を図るため、生活支援及び町内での消費喚起対策として、大井町商工振興会が行うプレミアム付き商品券事業への補助を引き続き行います。(再掲)
- ・有害鳥獣被害対策として、大井町鳥獣対策協議会が実施する事業を支援するとともに、引き続き鳥獣被害対策実施隊と連携した捕獲活動を実施します。

《観光》

- ・「ひょうたんの町おおい」として歴史を刻んできましたが、次世代へつなげるため、新たなコンテンツと文化の創出により、さらなる賑わいの創出と地域活性化を図ります。
- ・より一層酒匂川沿いの田園風景やせせらぎ散策路の魅力を発信するため、田んぼ体験やウォーキングイベントを（一社）神奈川大井の里体験観光協会へ委託するとともに、各種イベントを開催し、体験民泊を含め交流体験や農業体験などの受入れ環境を構築し、多くの観光客を呼び込みます。
- ・町の玄関口（上大井駅前と国道 255 号）に設置している自立型の広告塔を改修し、来訪者への町のイメージアップにつなげます。(再掲)

【計画を実現できるまち】

《行財政運営》

- ・行政評価及び人事評価を実施し、効率的で適正な行政を推進します。
- ・町民の利便性の向上を図るため、マイナンバーカードの申請や交付をオンライン予約できるようマイナンバーカード交付予約管理システムを導入します。
(再掲)

《広域行政》

- ・増大する広域行政課題に適切に対処するため、一部事務組合の共同運営や事務の委託などを継続的に進めるとともに、今後も近隣市町との連携・調整を図り、広域行政体制の充実に努めます。

令和4年度大井町各会計当初予算(案)

1 各会計予算規模 (グラフ1参照)

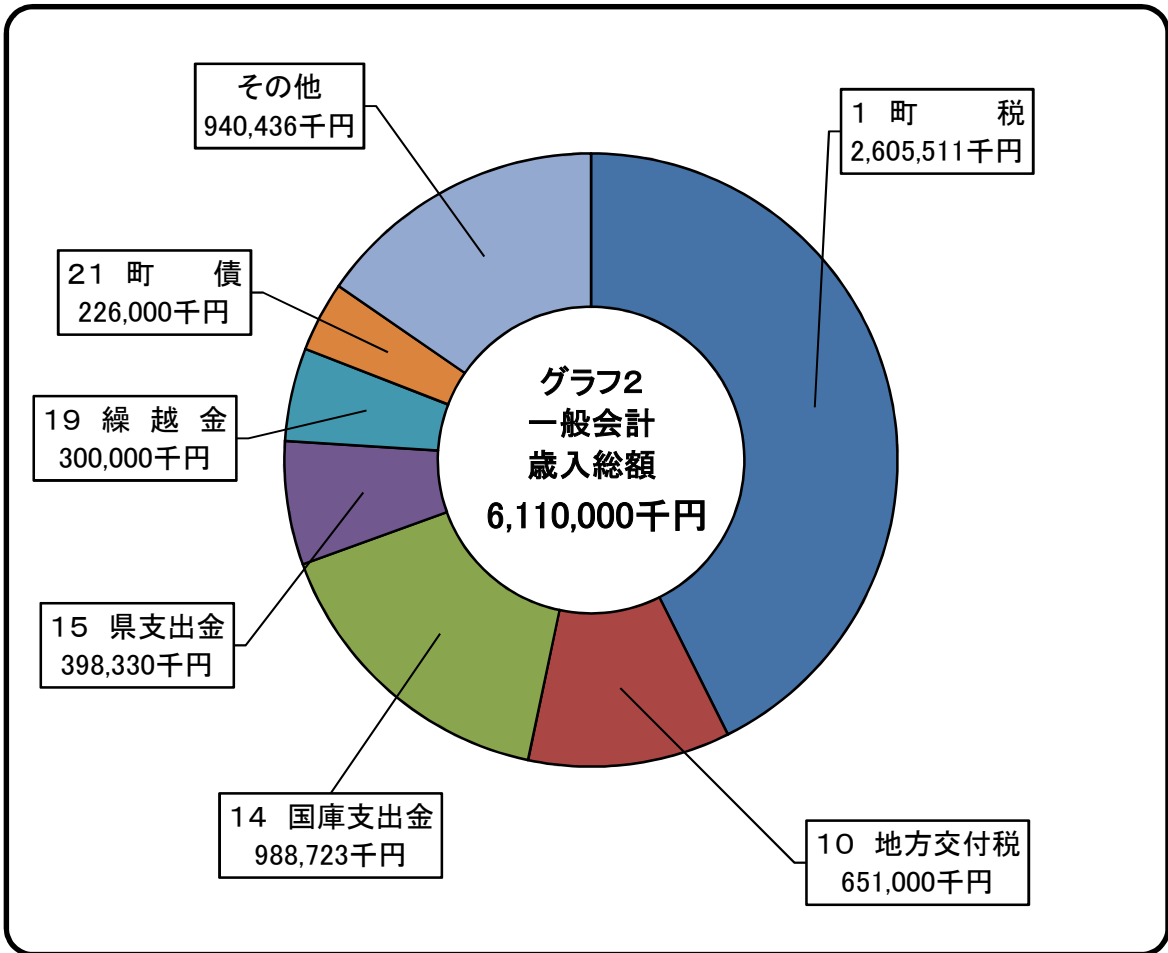
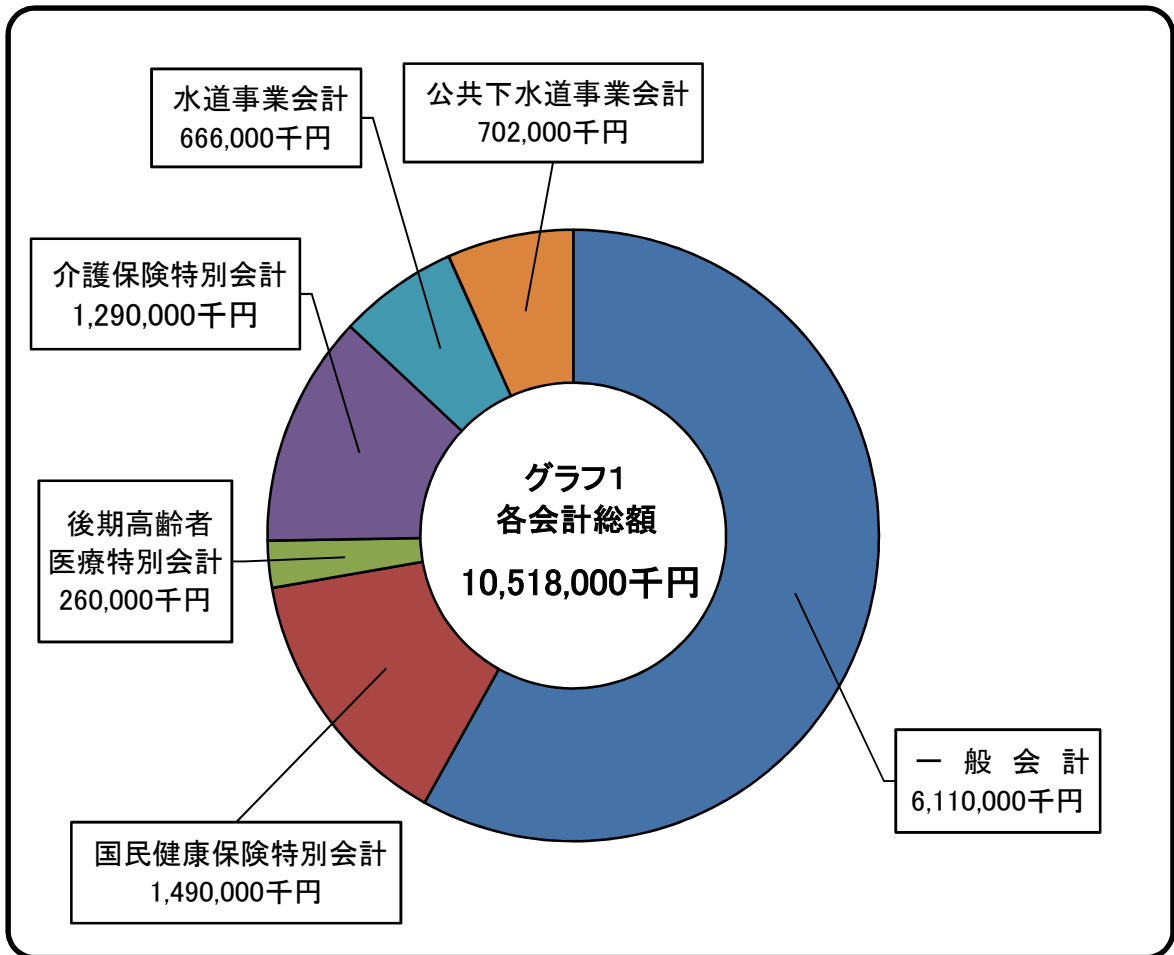
(単位:千円)

名 称	令和4年度		令和3年度		比較	伸び率(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
一 般 会 計	6,110,000	58.1	5,970,000	56.6	140,000	2.3
国民健康保険特別会計	1,490,000	14.2	1,460,000	13.9	30,000	2.1
後期高齢者医療特別会計	260,000	2.5	246,000	2.3	14,000	5.7
介護保険特別会計	1,290,000	12.2	1,280,000	12.1	10,000	0.8
水道事業会計	666,000	6.3	858,000	8.1	△ 192,000	△ 22.4
公共下水道事業会計	702,000	6.7	737,000	7.0	△ 35,000	△ 4.7
合 計	10,518,000	100.0	10,551,000	100.0	△ 33,000	△ 0.3

2 一般会計の歳入 (グラフ2参照)

(単位:千円)

款	令和4年度		令和3年度		比較	伸び率(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
1 町 税	2,605,511	42.6	2,555,232	42.8	50,279	2.0
2 地方譲与税	43,600	0.7	43,600	0.7	0	0.0
3 利子割交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
4 配当割交付金	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	7,000	0.1	7,000	0.1	0	0.0
6 法人事業税交付金	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
7 地方消費税交付金	300,000	4.9	280,000	4.7	20,000	7.1
8 環境性能割交付金	8,000	0.1	8,000	0.1	0	0.0
9 地方特例交付金	22,000	0.4	22,000	0.4	0	0.0
10 地方交付税	651,000	10.7	551,000	9.2	100,000	18.1
11 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0	3,000	0.1	0	0.0
12 分担金及び負担金	39,995	0.7	19,175	0.3	20,820	108.6
13 使用料及び手数料	56,935	0.9	57,438	1.0	△ 503	△ 0.9
14 国庫支出金	988,723	16.2	687,558	11.5	301,165	43.8
15 県支出金	398,330	6.5	349,906	5.9	48,424	13.8
16 財産収入	14,316	0.2	14,191	0.3	125	0.9
17 寄 附 金	40,000	0.7	50,000	0.8	△ 10,000	△ 20.0
18 繰 入 金	330,000	5.4	210,000	3.5	120,000	57.1
19 繰 越 金	300,000	4.9	300,000	5.0	0	0.0
20 諸 収 入	54,590	0.9	49,900	0.8	4,690	9.4
21 町 債	226,000	3.7	741,000	12.4	△ 515,000	△ 69.5
歳 入 合 計	6,110,000	100.0	5,970,000	100.0	140,000	2.3



3 一般会計の歳出 (グラフ3参照)

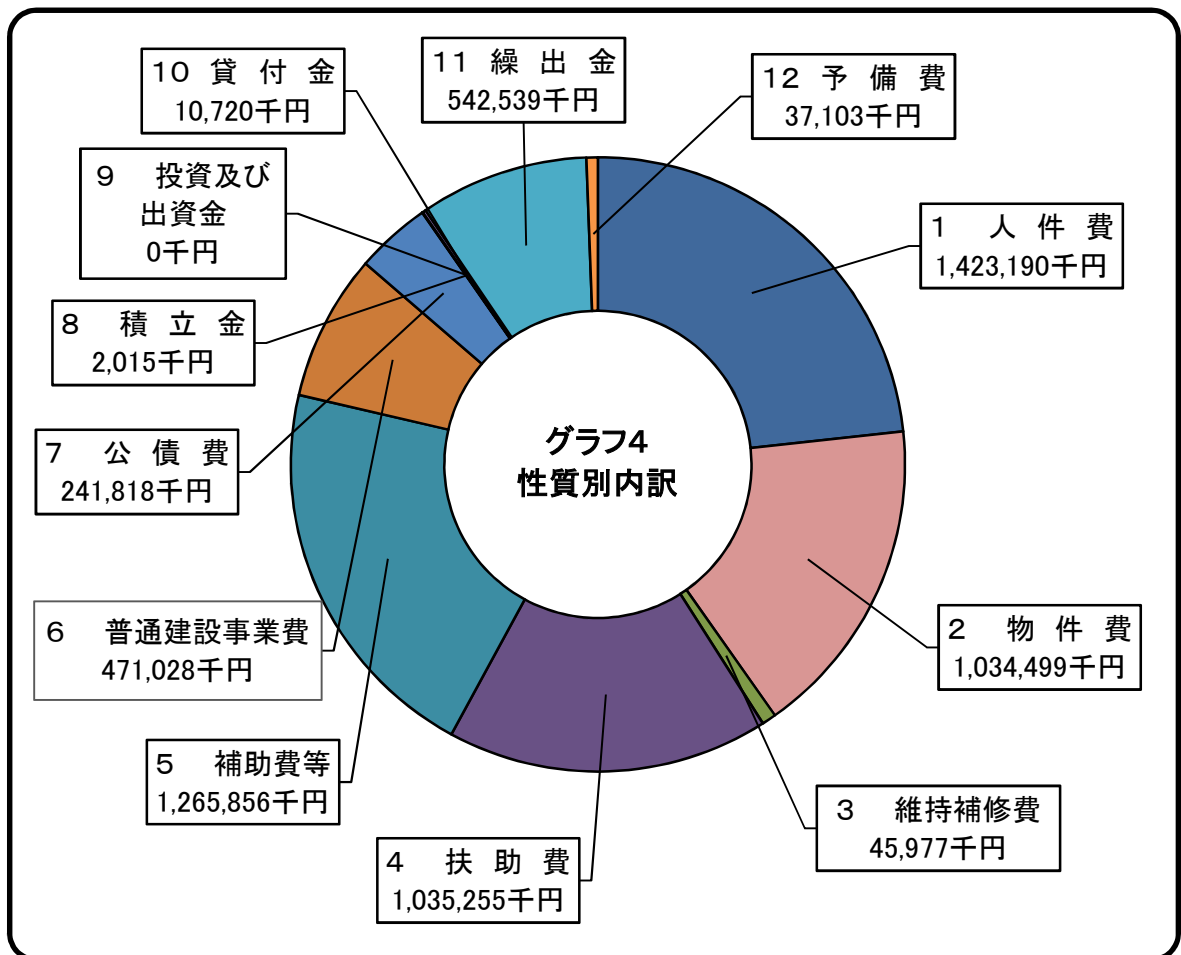
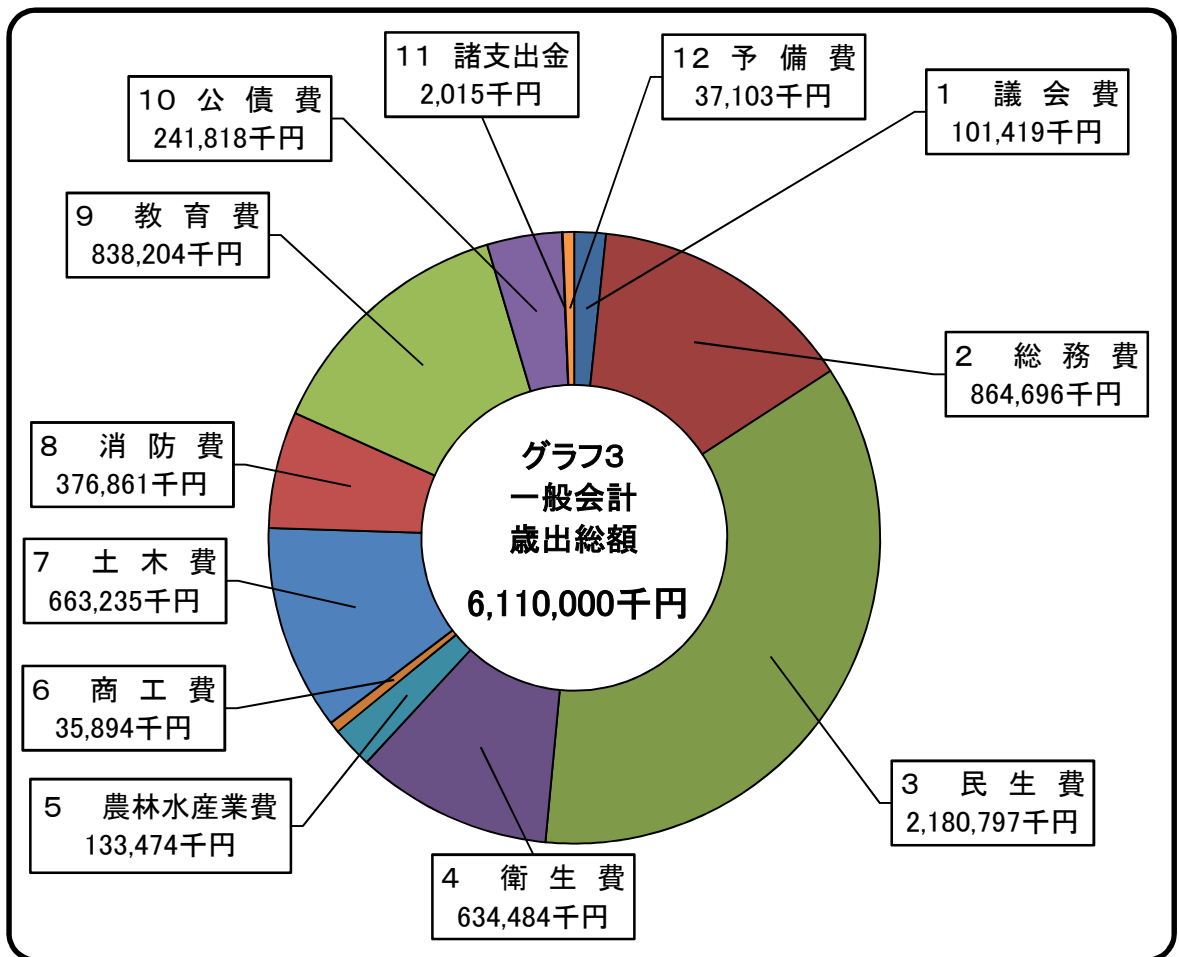
(単位:千円)

款	令和4年度		令和3年度		比較	伸び率(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
1 議会費	101,419	1.7	102,501	1.7	△ 1,082	△ 1.1
2 総務費	864,696	14.2	827,996	13.9	36,700	4.4
3 民生費	2,180,797	35.7	1,749,191	29.3	431,606	24.7
4 衛生費	634,484	10.4	531,948	8.9	102,536	19.3
5 農林水産業費	133,474	2.2	157,132	2.6	△ 23,658	△ 15.1
6 商工費	35,894	0.6	38,002	0.6	△ 2,108	△ 5.5
7 土木費	663,235	10.8	983,625	16.5	△ 320,390	△ 32.6
8 消防費	376,861	6.2	542,567	9.1	△ 165,706	△ 30.5
9 教育費	838,204	13.7	803,203	13.5	35,001	4.4
10 公債費	241,818	3.9	199,075	3.3	42,743	21.5
11 諸支出金	2,015	0.0	1,818	0.0	197	10.8
12 予備費	37,103	0.6	32,942	0.6	4,161	12.6
歳出合計	6,110,000	100.0	5,970,000	100.0	140,000	2.3

4 一般会計歳出性質別内訳 (グラフ4参照)

(単位:千円)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	伸び率(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
1 人件費	1,423,190	23.3	1,455,516	24.4	△ 32,326	△ 2.2
2 物件費	1,034,499	16.9	858,842	14.4	175,657	20.5
3 維持補修費	45,977	0.8	32,558	0.5	13,419	41.2
4 扶助費	1,035,255	16.9	1,005,914	16.9	29,341	2.9
5 補助費等	1,265,856	20.7	847,962	14.2	417,894	49.3
6 普通建設事業費	471,028	7.7	974,437	16.3	△ 503,409	△ 51.7
7 公債費	241,818	4.0	199,075	3.3	42,743	21.5
8 積立金	2,015	0.0	1,818	0.0	197	10.8
9 投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 貸付金	10,720	0.2	10,720	0.2	0	0.0
11 繰出金	542,539	8.9	550,216	9.2	△ 7,677	△ 1.4
12 予備費	37,103	0.6	32,942	0.6	4,161	12.6
歳出合計	6,110,000	100.0	5,970,000	100.0	140,000	2.3



令和4年度当初予算の町税内訳

(単位:千円)

科 目	年度		年度		比較	伸び率(%)
	令和4年度	構成比(%)	令和3年度	構成比(%)		
1 町民税	971,055	37.3	948,150	37.1	22,905	2.4
(1)個人	885,000	34.0	870,000	34.0	15,000	1.7
(2)法人	86,055	3.3	78,150	3.1	7,905	10.1
2 固定資産税	1,459,846	56.0	1,454,721	56.9	5,125	0.4
(1)土地	703,946	27.0	696,074	27.2	7,872	1.1
(2)家屋	612,591	23.5	607,244	23.8	5,347	0.9
(3)償却資産	141,730	5.4	149,827	5.8	△ 8,097	△ 5.4
(4)交付金	1,579	0.1	1,576	0.1	3	0.2
3 軽自動車税	56,673	2.2	51,360	2.0	5,313	10.3
(1)環境性能割	3,425	0.1	2,160	0.1	1,265	58.6
(2)種別割	53,248	2.1	49,200	1.9	4,048	8.2
4 町たばこ税	117,936	4.5	101,000	4.0	16,936	16.8
5 入湯税	1	0.0	1	0.0	0	0.0
計	2,605,511	100.0	2,555,232	100.0	50,279	2.0

令和4年度当初予算の普通建設事業内訳

1 一般会計

(単位:千円)

款	事業名	事業費	備考
総務費	掲示板設置事業	136	掲示板設置等工事
	自治会集会施設等整備事業	1,920	自治会集会施設改修工事費補助金(1自治会)
	庁舎施設改修事業	11,162	中央監視システム更新工事、非常用電源部品等交換工事
	交通安全施設等設置事業	1,280	カーブミラー等設置工事
	防犯設備設置事業	1,182	防犯灯設置工事、街頭防犯カメラ設置工事
	窓口用備品購入事業	2,444	窓口証明書発行用複合機購入
民生費	ふれあい館施設改修事業	253	落下防止柵設置工事
	保健福祉センター用備品購入事業	3,082	輪転印刷機購入
	保育園施設改修事業	1,887	2歳児保育室空調設備設置工事、テラスクッション床改修工事
	児童コミュニティクラブ施設改修事業	1,551	おおい児童コミュニティクラブフェンス取替工事
衛生費	住宅用スマートエネルギー設備導入費補助事業	2,310	補助金
農林水産業費	鬼柳堰湛水防除事業	1,021	負担金
	和田堰整備費負担事業	1,109	負担金
	地域水源林整備事業	6,094	民有林の間伐整備
土木費	道水路維持事業	46,180	3路線 維持工事、橋りょう補修工事、用地買収、物件補償 等
	道水路改良事業	217,040	6路線 改良工事、測量等委託、用地買収、物件補償、移設補償
	狭あい道路対策事業	1,000	測量等委託
	木造住宅耐震改修工事費補助事業	500	補助金
	ブロック塀等撤去費補助事業	1,000	補助金
	都市計画道路推進事業	30,870	用地買収、物件補償、支障物件移設補償
	公園整備事業	3,197	防犯カメラ設置工事、休憩所太陽光発電設備設置工事
	町営住宅管理事業	12,949	町営河原住宅屋根改修工事
消防費	消防施設管理事業	585	火の見櫓除却工事
	急傾斜地崩壊対策事業	8,200	負担金
	防災施設管理事業	6,434	電動油圧式昇降運搬機購入、防災備蓄倉庫太陽光発電設備設置工事
教育費	大井小学校整備事業	725	体育館舞台幕改修工事
	生涯学習センター施設改修事業	102,803	防火シャッター改修工事、音響設備等改修工事、舞台吊物設備改修工事、電話設備改修工事、空調自動制御機器改修工事
	そうわ会館施設改修事業	1,760	陶芸窯購入、自動ドア改修工事、浄化槽蓋改修工事
	総合体育館施設改修事業	2,354	電話設備改修工事、換気扇改修工事
計		471,028	

2 企業会計

(単位:千円)

会計	事業名	事業費	備考
上水道	送配水設備改良更新事業	102,465	第2浄水場動力盤更新工事
		49,000	送・配水管等更新工事
		45,045	送・配水管布設工事
		6,600	配水管仕切弁設置工事
		5,720	山田配水池緊急遮断弁電動操作モ一夕更新工事
計		208,830	

会計	事業名	事業費	備考
下水道	污水管渠等布設事業	35,325	2工区 総延長315.0m、流量計新設工事、污水柵設置工事
	污水管渠等改築事業	3,624	流量計機器更新工事
	流域下水道建設事業	7,251	負担金
計		46,200	

合計		726,058	
----	--	---------	--

令和4年度普通建設事業以外の主な新規事業内訳

1 一般会計

(単位:千円)

款	事業名	事業費	備考
総務費	地域活動スタートアップ助成事業	44	フードパントリー事業を行う団体への補助金の交付
	公共交通対策事業	15,000	おおいゆめバスの運行
	マイナンバーカード取得促進事業	1,674	マイナンバーカード交付予約管理システムの導入
民生費	成年後見制度事業	1,797	広域で設置する成年後見センター運営委託
	地域医療介護総合確保基金事業	48,702	新規介護施設に対する補助金の交付
	待機児童対策事業	354,766	民間保育所及び認定こども園の整備に対する補助金の交付
衛生費	母子保健事業	1,200	妊婦及び出産時など、タクシー利用費用の助成
	前立腺がん検診事業	874	50歳以上の男性に対する前立腺がん検診費用の一部助成
	環境計画策定事業	16,577	環境基本計画及び脱炭素実行計画の策定
農林水産業費	農ある暮らしと新しいライフスタイル創出事業	5,490	認定新規就農者への支援、新規就農者制度の創設、講座や交流会の開催等
	食と交流体験ブランド化促進事業	8,676	フェイジョア販売促進、交流体験事業担い手拡大、夏休みこども民泊チャレンジの実施等
	指定管理者制度事業	12,900	農業体験施設「四季の里」への指定管理者制度の導入
商工費	町商工振興会補助事業	4,607	町商工振興会が行う、プレミアム商品券事業への補助金の交付
消防費	消防団員処遇改善事業	7,894	出動報酬の支給、準中型免許取得費用の助成及び分団員が災害活動に使用した自動車の損害保険加入
	消防団協力事業所事業	823	消防団に従業員が複数入団している事業所など、積極的に協力している事業所に対する補助金の交付
	災害時用衛生用品備蓄事業	1,595	女性用生理用品やおむつなどの備蓄品整備
	地域防災計画策定事業	4,722	地域防災計画の策定
教育費	GIGAスクール構想事業	9,999	GIGAスクール構想に基づき、ICT支援員を配置
	図書館事業	169	図書棚への落下防止テープの施工及び図書館カードの一新
	総合体育館事業	5,192	非常用電源改修工事の設計委託
	指定管理者制度事業	4,605	山田総合グラウンドへの指定管理者制度の導入

2 特別会計・企業会計

(単位:千円)

会計	事業名	事業費	備考
国保	特定健診未受診者対策事業	3,723	人工知能を用いた未受診者への受診勧奨
	保険税見直し事業	26,458	新型コロナウイルス感染症対策として、平等割額の1/2の減額(1年間の時限措置の延長)